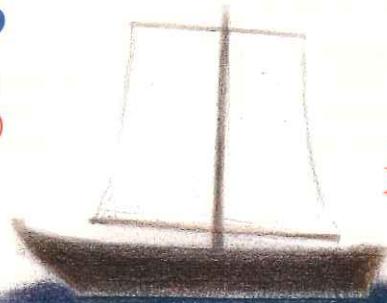


海の日に 表現の旅に出発しよう

日 時：2021年 7月 22日 海の日(木祝)
13:30～15:30



参加者
募集

Zoomを使用したオンライン講座

千葉県での障害者の表現活動

～これまで これから～

千葉県の障害者アートを形成してきたキーパーソンにご登壇いただき、オンラインで対話会を行います

ゲスト：



千葉県のみならず
全国のアールブリュット活動の
先駆けとなり現在も後進を育てている
西村 陽平 氏
日本女子大学名誉教授



千葉市で障害をもつ人の
創作的な活動の支援をしている
高本 涼子 氏
社会福祉法人九十九会
まあるい広場施設長

千葉県の障害者福祉を支え
アールブリュット活動を
推進し続けている
野澤 和弘 氏
植草学園大学副学長



千葉市で先駆的な
福祉の活動を進めている
竹嶋 信洋 氏
株式会社ベストサポート代表



参加費：無料

定員：先着 100 名

対象：
●千葉県全域・全国の障害サービス提供事業者の方々
障害者の表現活動に興味関心のある方、表現をしてみたい方
●Zoomを使ったオンライン受講が出来る機器環境にある方
(パソコン推奨ですがタブレット、スマホも可)

申込み方法：申込みフォーム

申込み期間：6月21日㊁～7月15日㊂

※お申込みいただいた方には、前日21日㊁までにURL、Zoom ID、PWをお送りします



申込みフォーム

問合先：



千葉アール・ブリュットセンター **うみのもり**

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮2553-8 株式会社いろだま内

TEL 0475-36-7411 FAX 0475-42-6138

MAIL uminomorichiba@gmail WEB https://uminomori.net



WEBサイト



FBページ

ゲストプロフィール

西村 陽平氏

1947年京都市生まれ。東京教育大学芸術学科卒。
千葉県立千葉盲学校で図工を担当、その後日本女子大学児童学科で
美術教育を担当した。教育の仕事とともに、美術作家として作品制作を行った。作品は、ビクトリア&アルバート美術館など国内外の美術館に収蔵されている。
日本女子大学名誉教授。

野澤 和弘氏

1983年早稲田大学法学部卒業、毎日新聞入社。東京社会部でいじめ、
引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などの報道に取り組む。
2009年から論説委員（社会保障担当）を11年務め、2019年10月退社。
現在は一般社団法人スローコミュニケーション代表、毎日新聞客員編集委員、植草学園大学副学長・教授。
ほかに、厚生労働省社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員、東京大学非常勤講師、上智大学非常勤講師など。

主な著書に「スローコミュニケーション」「なんとなくは、生きられない。」「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」、「あの夜、君が泣いたわけ」「わかりやすさの本質」など。

高本 涼子氏

社会福祉法人九十九会 あるいは広場（就労継続支援事業B型）施設長
法人の理念でもある「ひとりひとりが人として尊重され、個性と独立性を十分に發揮できる暮らしの実現」に向けて、日々、知的障害をもつ人たちと関わっている。成人した人たちが、福祉事業所でどのように過ごすかは、その人の人生にとって重要なことの一つである。あるいは広場では、画一的な作業ではなく、ひとりひとりに合った活動を見つけ、作品や製品を通して、社会とつながることを目指している。

竹嶋 信洋氏

株式会社ベストサポート 代表取締役。
社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会にて福祉の基礎を学び、H23年に千葉市若葉区西都賀の地にて独立。事業所運営、相談支援専門員として活動する中、H28年4月に西都賀3丁目・4丁目自治会会長を任命し、「障害のある人もない人も共に暮らす」ことをモットーに活動中。
一般社団法人千葉県社会福祉士会事務局次長。一般社団法人スタジオフクシ共同代表理事。
社会福祉法人リベルタス理事。

千葉アール・ブリュットセンター うみのもりについて

文化や芸術は障害のある子供や大人の「福祉」や「教育」のためだけではなく、多様性と活力に満ちた地域共生社会の実現を目指しています。多種多様な生き物を養い、且つ海そのものの水質をも浄化する藻場。【うみのもり】は、そんな藻場のような場所でありたいと考えます。【うみのもり】は様々な表現方法や芸術をサポートしながら、芸術文化活動を支援する人の技術者習得の場の確保や表現者の様々な体験の機会を提案し、展示会などの機会を設けていきます。

実施団体の【株式会社いろだま】はアートを通じての共育活動と、ボーダーレスなアート活動を通して得られる根源的な「楽しい」「嬉しい」「発見する喜び」を経験していただける機会や空間を提案し、アートが様々な方にとって“生涯の学び”“生涯を楽しむ”存在となることを目指しています。

厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業

千葉県障害者芸術文化活動支援センターについて

千葉県では、障害のある人の芸術文化活動の振興を図るとともに、自立と社会参加を促進する事を目的として、千葉県障害者芸術文化活動支援センターを設置しています。

千葉アール・ブリュットセンター うみのもり からのお願い

- ・表現活動をしている障害のある方の情報
- ・表現活動をしてみたい方へのご相談
- ・表現活動を施設で取り組みたいと思っている方のお手伝い
- ・表現活動の指導者になりたい方 お問合せをお待ちしております

今後の活動予定

- ・県内事業者ネットワーク会議
- ・舞台系・美術系ワークショップ
- ・著作権について、障害について学ぶ講座
- ・展覧会の開催などを計画中です

今後の詳しい日程はWEB、Facebookページなどでも随時告知して参ります。ご覧下さい